

平成 23 年度後期 学会講演・公開講座・研究会

於昭和女子大学（敬称略）

- 10 月 20 日（女性文化研究所第 128 回定例研究会）
○ディアンサがやったことーギルマンがめざした家事労働の社会化ー
教授 川 畑 由 美
- 10 月 29 日（第 5 回社会福祉学会「女性たちの東日本大震災」）
○東日本大震災と岩手県大船渡市の被災
シンガーソングライター・さんりく大船渡ふるさと大使 濱 守 栄 子
○津波を背に山をかけ上った保育園児たちー3・11 の回想
岩手県大槌町大槌保育園園長 八木澤弓美子
○被災者の避難生活（仮設住宅）の現状
福島県本宮町社会福祉協議会 関 本 浩 美
- 10 月 29 日（第 1 回生活心理研究所公開講座「青年後期のこころを支える」）
○変わりゆく家族と青年の自立 一 家族はどこに向かい 青年はどこに向かうのかー
非常勤講師（元家庭裁判所首席調査官） 奥 山 淳 一
- 11 月 5 日（第 2 回生活心理研究所公開講座「青年後期のこころを支える」）
○青年後期における仕事とストレスー職場の対人関係とコミュニケーションの視点からー
ピースマインド・イープ株式会社 三浦 由美子
- 11 月 18 日（女性文化研究所第 129 回定例研究会）
○ロシア女性の学問への道：ダーシコヴァから高等教育をもとめる女性達まで
東京工芸大学非常勤講師 中 神 美 砂
- 11 月 24 日（女性文化研究所第 22 回女性学公開講座「社会へ羽ばたくあなたたちへ 女性リーダーたちの応援メッセージ キャリアビジョンをまず描こう!! VI」）
○挨拶
学長・女性文化研究所長 坂東 真理子
○パネリスト NTT Com チェオ㈱代表取締役社長 小林 洋子／㈱リーファース代表取締役社長 水野 葉子／ヒューマン・コミュニケーション研究所長 渡邊 嘉子
- 11 月 26 日（第 3 回生活心理研究所公開講座「青年後期のこころを支える」）
○アスペルガー障害のある青年期の人たちへの支援について
明神下診療所精神神経科 米 田 衆 介
- 11 月 26 日（文化史学会第 27 回大会）
○宿借りの話（講演）
教授 渡 辺 伸 夫
○山梨県北杜市諏訪原遺跡 2011 年夏季発掘調査報告
大学院生 井口 真理子／大学院生 飯 島 萌／准教授 小 泉 玲 子／教授 山 本 暉 久
○レヴィ＝ストロースの音楽論（研究発表）
教授 江 中 里 子
○多凹痕をもつ石棒と石皿（研究発表）
教授 山 本 暉 久
○日本における製紙技術発展の特殊性（研究発表）
教授 増 田 勝 彦
- 12 月 3 日（人間教育学専攻フォーラム「東日本大震災を乗り越えて これからの学校教育の目指す方向を考えるー子ども自らが切り拓く教育のあり方」）
○挨拶
学長 坂東 真理子
○「わたしたちはここにいます～石巻・門脇小学校・夏」(映画)〈解説・講話〉
石巻市立門脇小学校前校長 鈴 木 洋 子
○提言
シンポジスト 石巻市教育委員会前教育長 阿部 和夫／文部科学省スポーツ・青少年局競技スポーツ課長（前文部科学広報官） 杉浦 久弘／
東京都教育庁指導部主任指導主事（安全教育担当） 石田 周／世田谷区ボランティア協会理事長 興梠 寛／コーディネーター 教授 押谷 由夫
○提言を受けてのシンポジウム
討論者 教授 小 川 哲 男／大学院生・文京区立関口台小学校副校長 斎 藤 道 子／司会 教授 横 山 文 樹
- 12 月 7 日（第 2 回環境デザイン研究会）
○サイト・リノベーションについて
教授 杉 浦 久 子
- 1 月 26 日（女性文化研究所第 130 回定例研究会）
○マーガレット・フラーのイタリア便り ローマ共和国崩壊とニューヨーク・ジャーナリズムの台頭
教授 上 野 和 子
- 2 月 14 日（第 3 回環境デザイン研究会）
○着心地の評価ー若者と高齢者の比較ー
教授 猪又 美栄子
○子どもの成長変化に対応した子ども部屋のあり方に関する考察 2
助手 小 森 佑 子
- 2 月 17 日（女性文化研究所第 131 回定例研究会 研究員・特別研究員研究報告会）
○製薬企業におけるワークライフ・バランスに関する一考察
女性文化研究所特別研究員 杉田 あけみ
○與謝野晶子と生田長江
女性文化研究所特別研究員 中 田 親 子
○女性雑誌の短歌欄
女性文化研究所特別研究員 高 橋 美 織
- 2 月 22 日（日本文学研究会）
○「春山之霞壯夫と秋山之下氷壯夫」の物語の意義
准教授 鳥 谷 知 子
○韓国人日本語学習者が発話する日本語アクセントの傾向
准教授 伊 藤 博 文
- 2 月 22 日（英語コミュニケーション学科・文化創造学科合同教員学術研究会）
○「歴史」と「映画」に見える移民の姿ーアイルランド人の場合ー
教授 佐 藤 洋
○類型論とその周辺
教授 岸 山 睦

☆掲載論文の無断転載を禁じます。

学苑 八百五十七号

定 価 八四〇円（本体八〇〇円）

購 読 料 一カ年分 一〇〇八〇円

（本体 九六〇〇円）

平成二十四年 二月二十日 印刷

平成二十四年 三月 一日 発行

編集発行人 山 田 秀 潔

印 刷 所 三 秀 舎

発行所 昭和女子大学
近代文化研究所

〒154-8533 東京都世田谷区太子堂一ノ七

電話 03（三四一一）五三〇〇

平成 23 年度学苑編集委員

| | |
|-----|----------------------|
| 委員長 | 山田 潔（近代文化研究所長） |
| | 栗原 草子（総合教育センター） |
| | 山田 潔（日本語日本文学科） |
| | 小川 喜正（英語コミュニケーション学科） |
| | 菊池 誠一（歴史文化学科） |
| | 李 守（国際学科） |
| | 渡邊 佳明（心理学科） |
| | 北本 佳子（福祉社会学科） |
| | 福田 淳子（現代教養学科） |
| | 押谷 由夫（初等教育学科） |
| | 竹田喜美子（環境デザイン学科） |
| | 不破真佐子（健康デザイン学科） |
| | 曾田 功（管理栄養学科） |
| | 久下 裕利（文化創造学科） |